

## 第6学年A組 国語科・総合的な学習の時間指導案

### 1. 単元名 「修学旅行のガイドブックを作ろう」

### 2. 本単元の考え方

#### 【児童の実態】

本学級の児童はこれまでに、目的や意図に応じて自分の考えを書くことに関して、自分の所属する委員会活動に関するお知らせやお願いを伝える意見文をまとめる学習をしてきている。また、総合的な学習において、調べたことをレポートや発表原稿としてまとめる学習も経験してきている。それらの学習を通して、意見文や説明文の基本的な構成である、話題提示、事例、まとめ・むすびという構成で文章を組み立てれば、自分の考えが読み手に伝わる文章を書くことができることをとらえてきている。そのような組み立て方による文章の書き方を活用して、学習や行事等の感想を書いたり、レポートを書いたりする活動を折に触れて行ってきた。そのことにより、文章を書くことに苦手意識をもっていた児童も、目的に応じ、書く必要のある事柄を事例として選び、その事例を通して自分の考えを伝えることができるようになってきている。しかし、調べたことを整理して取捨選択して書く必要のあることを選び出し軽重を意識して書いたり、取材して分かった事実と自分の感想、意見を区別して書いたりすることについて定着するまでには至っていない。また、調べて分かったことが事実であるかどうかを確かめるために、さらに情報を集めて調べることについても、一層の指導を要すると考えられる。

#### 【単元の価値】

本単元では、修学旅行前に、訪れる長崎市内の見学場所について自分たちの見学が充実するために情報を集め、自分たちが活用するための「修学旅行ガイドブック」としてまとめる活動を行う。さらに、修学旅行後に実際に見学してくわしく分かった情報をつけ加えたり、感想を書き加えたりすることで、自分だけの「マイガイドブック」として完成させる学習活動も行うようにする。これらの学習活動により、目的意識をもって情報を集める活動を意欲的に行うことができると考えている。また、実際の見学の際に活用するガイドブックを作成することにより、集めた情報の確かさを確認したり、取捨選択したりして、自分たちにとって必要なことを選び出し、軽重を意識して書くことをとらえさせられるのではないかと考えている。「修学旅行ガイドブック」づくりでは、見学のためのガイドブックとして必要な事実を正確に書くことが必要とされ、修学旅行後にまとめる「マイガイドブック」では、見学で得た情報を付加修正したり、感想や意見をつけ加えたりすることが活動の中心となる。このことは、情報をより確かでくわしいものにすることや、事実と感想、意見を区別して書くことを考え、定着させることができるものと考えている。また、伝えたい相手を決めてマイガイドブックづくりを行うようにすることから、相手に応じて自分の考えを効果的に書くことを身につけることもねらっている。

#### 【指導にあたって】

本単元の指導にあたっては、つかむ段階として、書くことに関する目的や意図に応じて材料を選び、わかりやすい構成を考えるために、修学旅行の目的地について調べ、自分たちが活用するためにガイドブックをつくらうという導入から、単元への意欲をもたせるようにしたい。特に、グループ毎にポイントを選んで見学するというフィールドワークという活動に、「修学旅行ガイドブック」はコース決定の大切な資料となることから、その場所を見学する価値や見所などについて、わかりやすく、読み手に訴えるまとめ方をすることの大切さをとらえるのに適していると考えている。ガ

イドブックに必要とされる要素や効果的な書き方については、教科書の教材文を参考にしながら、実際のガイドブックを持ち寄って調べる活動から導き出していきたい。「修学旅行ガイドブック」には、営業時間や見学料金、休館日など、正確さを求められるデータも必要となってくることから、調べ、書く内容に関する確認やそのデータの新鮮さに目を向けさせることもできると考えている。本文を記述する際には、いくつかの資料の内容を自分たちで読んで理解し、まとめながら紹介するようにさせる。その際、自分たちにとって難しい言葉は、読み手である友達にとっても難しいことに気付かせ、平易な言葉に置き換えるなどをさせていきたい。また、内容としてつながることについては、並べ替えてまとめ、見出しを付けて見やすくすることも考えさせていきたい。

「マイガイドブック」作りにあたっては、読んでほしい相手意識をもたせようとして、実際の修学旅行で、調べ学習では得られなかった情報や、実際にその場所を訪れての自分の感想や意見を付け加え、自分独自のものとして完成させていくようにする。最後は学習のまとめとして、それぞれのガイドブックを読みあったり、読んでほしい相手に読んでもらったりすることで感想や意見をもらい、学習をまとめていきたい。

### 3. 情報教育の目標との関連

本学級の児童は、これまでに、各教科や総合的な学習の時間等でウェブ検索による調べ学習や表計算ソフトによるデータ処理、パソコン教室内の交流活動などでコンピュータを活用した学習を経験してきている。そのことで、知りたいことをコンピュータを手段として調べたり、多くのデータを処理したりすることにコンピュータを活用するよさには気付いてきている。しかし、調べたことをまとめ、自分の考えを創り出したり、自分の考えをコンピュータを効果的に活用して発信・伝達したりする経験は十分ではない。

そこで、本単元では、自分たちが活用するための「修学旅行ガイドブック」を作成するとともに、修学旅行後に自分だけの「マイガイドブック」を作成する学習を設定する。情報を集める場面では、ウェブ検索で複数の情報を収集し、本やパンフレットの情報と比較したり、だれのどんな情報なのかを確認したりすることにより情報の確かさを判断したりする活動を行う。情報をつくる場面では、収集した情報をもとに、写真や図を効果的に使い、修学旅行で見学する場所を紹介するガイドブックを作成し、そのガイドブックに実際に見学で得た情報を付加・修正して新たな情報を創り出し、自分だけの「マイガイドブック」としてまとめる学習を行う。情報を伝える場面では、「マイガイドブック」を家族や下学年に読んでもらうという学習を行う。この学習により児童に、課題解決を通して、文字、図、写真などの様々な情報をデジタル化することにより一元管理できるよさやデジタル化した情報を必要に応じて再利用・再加工したり、共同で作業したりできるよさを実感させたい。

このことを通して、主体的な課題解決にコンピュータを活用するよさを実感させることにより、児童の情報活用の実践力が育って行くのではないかと考えている。

### 4. 単元の目標

- 修学旅行で訪れる場所について事前調べをすることで、見学する場所について知り、自分たちのグループの修学旅行コースを決定することができる。(総合)。
- 自分が訪れた場所について、利用者を想定して必要な要素と効果的な書き方を考え、ガイドブックを作って交流することができる(国語)。
- 推敲の仕方を確認し、書いた文章を見直すとともに、生活に生かす意欲をもつことができる(国語)。

- 課題解決のために収集した情報を、正確さや有用さにより判断し、読み手を意識した処理をして「修学旅行ガイドブック」として表現することができる。(情報)
- 新たな情報や自分の感想や意見を付け加えて創造した情報を発信・伝達することができる。(情報)。

## 5. 単元計画(21時間)

課題解決の 学習過程	主な学習活動と内容	○ 情報活用場面 ・ 育成する実践力	教師の支援 (国語・総合…○, 情報… ◎)・評価…●
<p>である 1時間</p>	<p>1. 修学旅行のねらいや計画を知り、学習の見通しをもつ。 …①</p> <p>(1) 修学旅行についての説明を聞き、目的地やねらい、日程を理解する。</p> <p>(2) 学習の計画を知り、見通しをもつ。</p> <p>【学習の大まかな流れ】</p> <p>① 見学場所について調べる。</p> <p>② 自分たちが修学旅行で活用する「修学旅行ガイドブック」を分担して作る。</p> <p>③ グループで話し合い、コースを決定する。</p> <p>④ 修学旅行で実際に見学し、さらに情報を集める。</p> <p>⑤ さらに集めた情報や実際に見学しての感想をつけ加え、「マイガイドブック」をまとめる。</p>		<p>○ 修学旅行のしおりを参考にさせる。</p> <p>○ 学習の流れ図を提示する。</p> <p>● 学習の流れを説明することができる。</p>
<p>さぐる 4時間</p>	<p>2. 国語「ガイドブックを作ろう」をもとに、ガイドブックづくりについて知る。 …①</p> <p>(1) 全文を通読し、ガイドブックを作る目的や相手を考える。</p> <p>(2) ガイドブックを集めて、構成や材料の選び方、写真や図の使い方の工夫を理解する。</p> <p>3. 修学旅行の見学場所についての資料を集め、見学場所について理解</p>		<p>○ 教科書の単元名から、相手や目的を考えて書くことの意味をとらえさせる。</p> <p>● ガイドブックの相手や目的をとらえることができる。</p> <p>● ガイドブックの構成や材料の工夫が理解できる。</p>

	<p>する。 …③</p> <p>(1) 修学旅行の見学場所についての資料を分担して収集する。</p> <p>【予想される資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット</li> <li>・旅行ガイド</li> <li>・地図</li> <li>・ウェブ検索</li> </ul> <p>(2) 収集した資料に目を通し、整理して目的に合うものを選び、選んだ資料をくわしく調べ、分担した見学場所について理解する。</p>	<p>○ 情報を集める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収集</li> </ul> <p>○ 情報を集める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 判断</li> </ul>	<p>◎ 目的にあった資料の探し方を指導する。</p> <p>● 目的にあった資料を様々な方法で収集することができる。</p> <p>◎ 修学旅行の目的や、ガイドブックづくりのねらいから集めた資料や資料の中の必要な部分を取捨選択するようにさせる。</p> <p>● 必要な資料やその中の必要な箇所を選ぶことができる。</p>
<p>ふかめ 10 時間</p>	<p>4. 「修学旅行ガイドブック」を分担して作成する。 …⑧</p> <p>(1) 国語教科書により、割付の仕方を知り、これまでに収集した資料をもとに、「修学旅行ガイドブック」の本文ページを分担して作成する。</p> <p>(2) 「修学旅行ガイドブック説明会」を行い、見学場所について調べたことを説明するとともにガイドブックをよりよくするために意見を交換し、修正する。</p> <p>【本時 2 / 3】</p>	<p>○ 情報をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 判断</li> <li>・ 処理</li> </ul> <p>○ 情報をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表現</li> <li>・ 判断</li> <li>・ 処理</li> </ul>	<p>○ 自分たちが使いやすい内容と順序を検討するようにさせる。</p> <p>◎ 著作物の学習利用について指導する。</p> <p>◎ 写真, 図, 地図, 年表など, 必要な情報を入れて作成するようにさせる。</p> <p>● 必要な内容を入れ, 事実と意見を区別して書くことができる。</p> <p>○ 自分のガイドブックと比べながら聞き, 分からないところを質問したり, 改善のための意見を伝えたりする。</p> <p>◎ 作ったガイドブックの本文を資料として説明させるようにする。</p> <p>● 調べたことをわかりやすく説明し, 質問や意見をもとにガイドブックをよりよく修正できる。</p>

	<p>5. グループで修学旅行コースを話し合い決定し、修学旅行で調べたことを追加し、伝える相手を明確にした「マイガイドブック」を作る計画を立て、取材する。</p> <p style="text-align: right;">…②</p> <p>(1) 「修学旅行ガイドブック説明会」をもとに、グループで話し合い、修学旅行のコースを決定し、グループの「修学旅行ガイドブック」を完成させる。</p> <p>(2) グループで作った「修学旅行ガイドブック」を自分だけのオリジナル「マイガイドブック」にするにはどんなことを追加すればよいかを話し合い、修学旅行での取材計画を立てる。</p> <p>(3) 修学旅行に行き、取材計画に沿って情報を収集する。 (学校行事・社会科として)</p> <p><b>【予想される取材方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真</li> <li>・ パンフレット</li> <li>・ メモ</li> <li>・ インタビュー</li> </ul>	<p>○ 情報をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 判断</li> <li>・ 処理</li> </ul> <p>○ 情報をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 判断</li> </ul> <p>○ 情報を集める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収集</li> <li>・ 判断</li> </ul>	<p>◎ 分担して作ったガイドブックを組み合わせ、自分たちのグループのコースにあった「修学旅行ガイドブック」を完成させる。</p> <p>○ 「マイガイドブック」をつくる目的や見てほしい相手を明確にさせるように話し合いをさせる。</p> <p>● 相手や目的を考えて取材計画を立てることができる。</p> <p>○ これまでの国語や総合の学習で身につけたことを活用して取材するようにさせる。</p> <p>● 事前調べしたことにつけ加えできる情報や自分の感想、意見をメモすることができる。</p>
<p>まとめ 4時間</p>	<p>6. 取材してきたことを書き加え、「マイガイドブック」を作成する。</p> <p style="text-align: right;">…④</p> <p>(1) 収集した情報を整理し、書き加えることを決定する。</p> <p><b>【予想される書き加える情報】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真</li> <li>・ パンフレットやメモからの説明</li> <li>・ 感想</li> <li>・ 後書き</li> </ul> <p>(2) 「マイガイドブック」を作成する。</p>	<p>○ 情報をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 判断</li> <li>・ 処理</li> <li>・ 創造</li> </ul>	<p>◎ 「マイガイドブック」をつくる目的から考えて、収集した情報を取捨選択させる。</p> <p>◎ 作成した情報を生かし、新しい情報をつけ加えたり、写真などを差し替えたりして再加工できるコンピュータを活用するよさをとらえさせる。</p> <p>● 自分の取材結果や感想、意見を入れて自分だけの「マイガイドブック」を仕上げるこ</p>

			とができる。
広げる 2時間	<p>7. できあがった「マイガイドブック」を発信する。 …②</p> <p>(1) できあがった「マイガイドブック」を互いに読み合い、感想を交流する。</p> <p>(2) 伝えたい相手に「マイガイドブック」を読んでもらい、感想や意見をもらう。</p>	<p>○ 情報を伝える</p> <p>・ 発信・伝達</p>	<p>◎ 「マイガイドブック」を相互評価、他者評価してもらうことにより、情報を創造し、発信・伝達するよさをとらえさせる。</p> <p>● 自分や友達の「マイガイドブック」のよさをとらえることができる。</p>

## 6. 本時（14／21）

平成17年10月28日(金) 5校時

菅松小学校 パソコン教室

## 7. 本時目標

- 作成した「修学旅行ガイドブック」の内容と工夫したことについて資料を示しながら説明することができる。
- 「修学旅行ガイドブック」についての説明を自分たちのガイドブックと比べながら聞き、改善のためのアドバイスをすることができる。

## 8. 本時授業仮説

集めた情報から「修学旅行ガイドブック」をつくる場面において、以下のような支援を行えば、コンピュータを使って、課題に対する情報を必要に応じて判断、処理、表現する力が育つであろう。

- ガイドブックをわかりやすくするためのアドバイスの観点の設定
- 発表を聞きながらアドバイスを整理し、記入するためのアドバイスカードの準備

## 9. 本時指導の考え方

本時は、「修学旅行ガイドブック説明会」を行い、これまでに分担して作成してきた「修学旅行ガイドブック」の構成と、わかりやすいガイドブックにするために工夫してきたことを説明する。そして、説明されたことについて、より使いやすい「修学旅行ガイドブック」に仕上げていくためのアドバイスを交流する場面である。

前時までに児童は、修学旅行に携行して活用する「修学旅行ガイドブック」を作成するという課題をもち、分担して見学する場所についての情報を収集し、自分たちが活用できる情報を取捨選択し、わかりやすくなるように再構成して自分の分担ページを作成してきている。

そこで、導入においてこれまでの学習を振り返り、説明を聞く観点を確認する。この観点は、説明を聞いてアドバイスをを行う観点である。

次に、グループ毎の発表を行う。発表は、自分たちが作成したガイドブックをモニターに映し、説明する箇所を指し示しながら伝えるようにさせる。説明を聞くときには最初に確認したアドバイスの観点について聞き、気付いたことはアドバイスカードに記入していく。

さらに、発表を聞いて気付いたことをアドバイスし合う。内容について不十分だった点やわかりやすくするための工夫をした方がよい点について、自分たちの作ったガイドブックと比べながらアドバイスをするようにさせる。時間内に発表できないアドバイスがあると考えられることや、見直しの作業をする際の参考にするために、アドバイスカードは後で回収し、それぞれのグループに渡すようにする。

本時学習を通し、コンピュータを課題解決に生かすよさとして、様々な種類の情報を一元管理できるよさと、情報を再利用・再加工したり、共同作業したりできるよさを実感させていきたい。そして、収集した資料の中から、有用な情報を選び出す判断の力、収集、判断した情報を読み手に伝わりやすくなるように組み合わせ、順序を工夫する処理の力、読み手が情報を活用しやすいように表現する表現の力を高めることができると考えている。

## 10. 準備

- ・ アドバイスカード
- ・ 振り返りカード

## 1 1. 本時展開

主な学習活動と内容	○ 情報活用の場面 ・ 育成する実践力	教師の支援 (教科…○, 情報…◎) 評価…●
1. 前時を想起し、本時のめあての確認をする。		○ 本時学習の活動を確認し、本時めあてをとらえさせる。
【学習のめあて】ガイドブックの工夫が伝わるように発表し、よりよいガイドブックにするためのアドバイスをしよう。		
<p>2. 作成したガイドブックの構成と工夫を説明するガイドブック説明会を行う。</p> <p>【発表するとき】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調べた場所の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こんな場所と分かるように簡単に</li> </ul> </li> <li>○ どのような構成でまとめたか <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どのような見出しを付けたか</li> </ul> </li> <li>○ 見やすくなる工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図、写真などについて</li> <li>・ 書式等の工夫</li> </ul> </li> <li>○ 著作権への配慮</li> </ul> <p>【アドバイスの観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見出しの付け方や順序はわかりやすいか</li> <li>○ 使いやすくする工夫</li> </ul> <p>3. 受けたアドバイスについてグループで話し合い、修正について話し合う。</p> <p>(1) アドバイスを受けて、どのように付加修正を行うかをグループで話し合う。</p> <p>(2) アドバイスをどのように生かしていくかを発表する。</p> <p>4. 本時学習を振り返り、次時の見通しを持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報をつくる <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収集した資料の中から、有用な資料や部分を選び出す力 (判断)</li> <li>・ 収集, 判断した情報を読み手に伝わりやすくなるように組み合わせたり, 順序を工夫する力 (処理)</li> <li>・ 読み手が情報を活用しやすいように表現する力 (表現)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 聞き手に伝わりやすくなるように, 説明していることが分かる部分を指し示しながら説明するようにさせる。</li> <li>◎ 発表の資料を詳しく見せるために, それぞれの児童用パソコンのモニターに映像を映す。</li> <li>◎ 情報の取捨選択, 再構成, 目的に応じた表現の観点からの説明とアドバイスになるように観点を設定する。</li> <li>● 構成や工夫を聞き手に伝わるような組み立てで説明することができる。(国語)</li> <li>● 集めた資料の選び方, 組み立て方, 見やすくなるような工夫についての理解を深めることができる。(情報)</li> <li>◎ アドバイスカードを回収し, それぞれのグループに渡し, 話し合いの参考に使えるようにする。</li> <li>● アドバイスを受けて, 今後の付加修正の見通しをもつことができる。(国語・情報)</li> <li>◎ 自分の情報の判断, 処理, 表現の力の伸びについて振り返りカードに記入させる。</li> </ul>